

【主担当部局：農林水産部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

県民の皆さんの「食」に対する多様なニーズに応え、安全で安心な農産物が生産され、安定的に供給されることにより、本県農業の持続的な発展と県民の皆さんの健全な食生活の実現につながっています。また、収益性と高付加価値化を意識した農業の戦略的な振興や多様な担い手が共生する営農体制の構築、若者が魅力を感じる働きやすい農業の実現のための取組が進められ、次代を担う農業人材が活躍しています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
農業産出等額						1,228億円 (4年)
	1,211億円 (29年)					
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	農業生産によって得られた農産物、これらを原料とする加工農産物の生産額の合計（農林水産省生産農業所得統計・三重県調べ）（経営所得安定対策等による交付金等を含む。）					
2年度目標値 の考え方						

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
米、小麦、大豆 の自給率（カロ リーベース）						80.0% (4年度)
	78.0% (30年度)					
認定農業者のう ち、他産業従事 者と同程度の所 得を確保してい る者の割合						40.0%
	34.3% (30年)					
基盤整備を契機 とした農地の担 い手への集積率						55.2%
	43.0% (見込)					

現状と課題

- ①安全・安心な農産物等の安定供給を図るため、三重県の食料自給力の維持向上に努めるとともに、本県の強みである豊かな食材や多様な食文化など「食」の魅力と、伊勢志摩サミットや東京 2020 オリンピック・パラリンピック等を契機に高まった評価等を最大限に活用し、持続可能なもうかる農業の実現につなげていくことが求められています。
- ②農業就業人口に占める 65 歳以上の割合は 75%（平成 27（2015）年）と高いことから、本県農業が将来にわたって持続できるよう、効率的かつ安定的な農業経営の実現に向け、TPP11 や日欧 EPA 等によるグローバル化に対応しながら、AI 等の ICT の活用によるスマート化を進めるとともに、雇用力のある農業法人や次世代農業の主軸となる農業ビジネス人材、新規就農者などの確保・育成に取り組む必要があります。また、家畜伝染病など地域や産地に大きな影響を及ぼすリスクに適切に対応していくことが必要となっています。
- ③中山間地域など、担い手が不足している地域では、集落営農など農業経営の共同化や地域資源を生かした付加価値づくり等を進めることにより、さまざまな地域の関係者が参画する地域営農体制の構築につなげていく必要があります。
- ④効率的かつ安定的な農業経営の実現に向けて、担い手への農地集積・集約化等を通じた生産コストの削減や高収益作物への転換等を促進することが重要なことから、引き続き、営農の高度化・効率化に向けた生産基盤の整備を計画的に進めていく必要があります。

令和 2 年度の取組方向

- ①「三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画」に基づき、収益性と持続可能性の向上をめざした農業の戦略的な振興や若者が魅力を感じる働きやすい農業の実現に向けた取組を進めます。
- ②安全・安心な農産物の安定的な供給に向け、地域特性を生かしたブランド米や新たなマーケット等に対応した麦・大豆等の生産拡大による水田農業の推進、加工・業務用の野菜など多様な需要に対応できる園芸産地の育成、果樹の高品質化や伊勢茶のブランド化の推進、花き花木の需要拡大、畜産物の生産コストの低減や高付加価値化などに取り組むとともに、関係団体等と連携し、果樹や茶・牛肉などの輸出拡大に向けた取組を進めます。さらに、主要農作物の種子に関する条例の制定に向けて取り組むとともに、稲・麦・大豆の優良種子の安定供給に努めます。加えて、CSF 等家畜伝染病の発生による畜産物への風評被害の未然防止対策に取り組めます。
- ③効率的かつ安定的な農業経営を実現するため、人・農地プランの実質化と合わせた農地中間管理事業等による農地の集積・集約化やスマート農業の実装化など農業経営体の経営発展に向けたサポートに取り組めます。また、次代の農業を担う人材確保に向け、新規就農者に加え、雇用力のある農業法人の経営者の育成や産地の遊休資産を就農希望者等にあっせんする体制づくりに取り組めます。さらに、農業経営体の職場環境や人材を育成する体制の整備を図り、農業の「働き方改革」につなげます。加えて、家畜伝染病の発生により影響を受けた農場の経営支援に取り組めます。
- ④地域の特性を生かした農業及び農村の活性化に向け、集落や産地において、地域資源を生かしながら、新たな価値の創出をめざす地域活性化プランの取組を進めます。また、地域農業の生産維持や生産性の向上に向け、小規模農家や高齢農家等が参画した集落営農の組織化や法人化を図るとともに、農地集積と一体的に実施する基盤整備事業の導入などを通じて、地域営農体制の構築に取り組めます。
- ⑤営農の高度化、効率化を図るため、ほ場の大区画化や農業用水路のパイプライン化などの農業生産基盤の整備を引き続き計画的に進めます。

主な事業

- ①三重の水田農業構造改革総合対策事業【基本事業名：31201 持続可能なもうかる農業の実現】
予算額：(R1) 124,708千円 →(R2) 331,969千円
事業概要：水田農業の経営基盤を強化するため、新たなマーケットに対応した米づくり、麦・大豆等の生産拡大、経営所得安定対策の推進や優良種子の安定供給などに取り組みます。
- ②園芸特産物生産振興対策事業【基本事業名：31201 持続可能なもうかる農業の実現】
予算額：(R1) 285,385千円 → (R2) 59,525千円
事業概要：県産園芸品目の生産振興に向けて、生産施設等の整備を支援するとともに、野菜および果樹の価格安定対策や県内外における茶および花き花木の消費拡大などに取り組みます。
- ③スマート農業果樹産地導入モデル整備事業【基本事業名：31201 持続可能なもうかる農業の実現】
予算額：(R1) 4,970千円 → (R2) 1,275千円
事業概要：県南部のかんきつ産地において、スマート農業を導入するための園地整備方針や再整備するエリア等を検討し、園地再整備の基礎となる圃場条件等を調査します。
- ④農業のスマート化促進事業【基本事業名：31203 農業の多様な担い手の確保・育成】
予算額：(R1) 4,899千円 → (R2) 4,500千円
事業概要：若者が魅力を感じる働きやすい農業の実現に向けて、伊賀米および伊勢茶のリーディングプロジェクト等を通じて、労働環境改善、技術習得の円滑化、生産性や所得の向上などにつながるスマート農業の取組を促進します。
- ⑤(新)海外に拠点を持つ旅行事業者等と連携した販路開拓事業
【基本事業名：31201 持続可能なもうかる農業の実現】
予算額：(R1) — 千円 → (R2) 4,000千円
事業概要：伊勢茶やみかんの輸出拡大に向け、海外に拠点を持つ旅行事業者等との連携により、現地企業による商品開発等新たな手法を取り入れて海外市場の開拓に取り組みます。
- ⑥高収益型畜産連携体育成事業【基本事業名：31202 持続可能なもうかる畜産業の実現】
予算額：(R1) 436,130千円 → (R2) 468,173千円
事業概要：畜産経営の競争力強化を図るため、生産性向上などのために必要な畜産施設等の整備を支援することで、高収益型畜産連携体の育成につなげます。
- ⑦中小家畜経営対策事業【基本事業名：31202 持続可能なもうかる畜産業の実現】
予算額：(R1) 4,523千円 → (R2) 12,190千円
事業概要：効率的で生産性の高い畜産経営体の育成、体質強化等に係る支援を行い畜産業の振興を図るとともに、CSF等家畜伝染病の発生による畜産物への風評被害の未然防止対策に取り組みます。

農地中間管理機構事業【基本事業名：31203 農業の多様な担い手の確保・育成】

予算額：(R1) 167,217千円 (R2) 165,769千円

事業概要：担い手への農地集積・集約化を加速するため、「農地中間管理事業の推進に関する法律」に基づき、農地中間管理事業を推進します。

三重の農業若き匠の里プロジェクト総合対策事業

【基本事業名：31203 農業の多様な担い手の確保・育成】

予算額：(R1) 7,302千円 (R2) 7,168千円

事業概要：県農業大学校に設置した「みえ農業版MBA養成塾」において、農業法人等での雇用型インターンシップや食品産業事業者と連携したフードマネジメント講座など、産学官連携による人材育成プログラムを実施し、農業ビジネス人材を育成します。

農業経営資源移譲円滑化事業【基本事業名：31201 持続可能なもうかる農業の実現】

予算額：(R1) 1,286千円 (R2) 903千円

事業概要：就農初期投資の軽減に向けて、廃業および廃業予定の農業者の移譲可能な施設等をそのまま利用する「居ぬき」物件の情報を把握・保有し、新規就農者や経営拡大をめざす農業者に提供します。

(新)次代の農業を創る多様な働き方総合推進事業

【基本事業名：31203 農業の多様な担い手の確保・育成】

予算額：(R1) - 千円 (R2) 4,000千円

事業概要：多様な人材の確保・育成やその人材を農業経営体等とマッチングする仕組みの構築とともに、「働きやすさ」や「やり甲斐」を持てる職場環境・人材の育成体制の整備など「働き方改革」の取組を推進し、多様な労働力を生かして新たなビジネスに挑戦する農業経営体等を育成します。

農業経営体育成普及事業【基本事業名：31203 農業の多様な担い手の確保・育成】

予算額：(R1) 47,785千円 (R2) 48,648千円

事業概要：農業者の経営発展を促進するため、先進的技術の導入やマーケティング能力の向上、経営改善に向けた支援に取り組むとともに、地域資源を生かした新たな価値の創出や集落営農の推進を図るなど、地域営農体制の構築に向けた普及活動を展開します。

高度水利機能確保基盤整備事業【基本事業名：31204 強い農業のための基盤づくり】

予算額：(R1) 1,124,011千円 (R2) 2,240,010千円

事業概要：農地を集積し大規模営農に取り組む意欲ある農業経営体の効率的な営農の実現に向け、ほ場の大区画化や用水路のパイプライン化など農業生産基盤の整備に計画的に取り組めます。

県営かんがい排水事業【基本事業名：31204 強い農業のための基盤づくり】

予算額：(R1) 523,625千円 (R2) 870,450千円

事業概要：農業生産の基礎となる農業用水の確保、適期・適量供給および農地排水の改良を図るため、水田、畑等における基幹的な農業水利施設の整備・更新を行います。

団体営災害耕地復旧事業【基本事業名：31204 強い農業のための基盤づくり】

予算額：(R1) 1,289,475千円 (R2) 1,275,980千円

事業概要：平成30年および令和元年に被災した農地および農業用施設について、市町と連携して早期復旧に取り組みます。